

企画名：保健師のスキルアップ研修会
実施日：9月27日
講師：守田孝恵（山口大学亜衣学院医学系研究科 看護学専攻長）
企画実施組織：永吉ルリ子・比嘉憲枝・仲本優子・島袋尚美・松田めぐみ
<p>企画の目的・概要</p> <p>保健師の置かれている現状と保健師の要望である「公衆衛生看護の現状と課題」を踏まえ、保健師の質向上をめざし、そして、保健師がともに育ち合うために、保健師活動の基盤であるコア（みる・つなぐ・うごかす）を発展させることの技術を習得する機会とする。</p> <p>基調講演テーマ：「保健師活動を通して育ちあうために」</p> <p>場所：名桜大学看護学科棟 第1講義室</p>
企画実施報告
<p>企画通りに実施することができた。全県下現役保健師54名（市町村22名、保健所21名、本庁・大学等11名）の参加であった。</p> <p>守田氏は、展開図でわかる「個」から「地域」への広げる保健師活動（クオリティケア）の著者である。守田氏は、保健師の実務・基礎教育・現任教育の経験から、PDCAに添った保健師活動を、「個」から「地域」に広げる展開活動の実際を講演された。</p> <p>アンケート結果から、日程・時間帯・講演形式等、約9割が適切であったと回答。基調講演から、保健師活動の基盤及び核となる考え方を学んだ。保健師活動の振り返りができ、今後の保健師活動の糧になる等貴重な機会であった等の所感があった。今後開催してほしい内容は「保健師の専門性」「保健師活動の基盤」等であった。</p> <p>*今回実施した基調講演は、沖縄県現役保健師の質向上に寄与したものであると捉える。さらに、名桜大学看護学科PRの一助になったと考える。</p>
企画の実施評価
<p>展開図でわかる「個」から「地域」へ広げる保健師活動（クオリティケア）の著者である守田氏の基調講演を拝聴できた。地域診断の基本である、PDCAに添った保健師活動を、「個」から「地域」に広げる展開について学び直しができた。特に、保健師教育課程における教育内容の確認、保健師の現場活動に生かせる内容であった。さらに、大学と活動現場が一体となり、保健師の質向上につなげることができたと思う。</p>
今後の取組み
<p>名桜大学が、現任保健師質向上の一助を担えるよう、次年度においても講演会を開催したい。今回は、基調講演参加者からの研修要望「保健師の専門性」「保健師活動の基盤」を踏まえ、名桜大学としての役割を検討した上で、講演内容及び講演者を決定する。</p> <p>備考：沖縄県が後援同意した。おかげで、沖縄県保健師研修会（8月28日）に於いて、基調講演会のパンフレット及びポスター配布ができた。</p>

